

けんこう静岡

第165号

令和8年
(2026年)
4月1日(水)

季刊発行(1月、4月、7月、10月)

発行所
公益財団法人 静岡県予防医学協会
https://www.shsa.net/

(静岡事務所) 〒421-0111 静岡市駿河区丸子新田186-5 (054) 270-5177
(藤枝健診センター) 〒426-0053 藤枝市善左衛門2-11-5 (054) 636-6461
(総合健診センター) 〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8 (054) 636-6460
(沼津事務所) 〒410-0011 沼津市岡宮1210-1 (055) 921-1934
(浜松健診センター) 〒435-0006 浜松市中央区下石町951 (053) 422-7800
編集 けんこう静岡編集委員会 印刷 池田屋印刷機

子どもの発達障害 理解と支援の第二歩

― 保護者のために、具体的な姿から考える ―



名古屋市立大学 人文社会学部心理教育学科 准教授 桑島隆二

近年、「発達障害」という言葉は、学校や保育園だけでなく、テレビや新聞、インターネットを通して、私たちの生活の中に広く浸透してきました。授業中にじっと座ってられない、友だちとの関係がうまくいかない、何度説明しても同じところでつまづく――そうした子どもの姿を前に、多くの保護者が戸惑いや不安を抱えています。「どうしてこの子はできないのだろうか」「もっと努力させるべきなのではないか」「自分の育て方が悪かったのではないか」

ADHDの子どもは、集中を続けることや順序立てて行動することが苦手で、思いついたことをすぐ行動に移してしまう傾向があります。忘れ物が多い、話を最後まで聞けないといった姿から、「落ち着きがない」「やる気がない」と誤解されることも少なくありません。LDの子どもは、知的な発達に大きな遅れはないものの、読み書きや計算など特定の学習分野で強い困難を抱えます。

これらに共通しているのは、「能力が低い」のではなく、「情報の処理の仕方が周囲と異なる」という点です。周囲と同じ方法ではうまくいかなくても、やり方を変えることで力を発揮できる子どもは少なくありません。

た、友だちとのトラブルが多い子どももいます。悪気なく思ったことを口にしてしまい、周囲から誤解されることがありますが、「空気を読む」という抽象的な指示は理解しにくい場合があります。そのようなときは、「この場面ではこう言うといいよ」と具体的な言葉を示すことで、関係が安定していくことがあります。支援とは、子どもを無理に変えるのではなく、環境や伝え方を少し調整することで、「できる場面」を増やしていく営みなのです。

保護者自身も支えられてよい

子どもを支える保護者自身も、迷いや疲れを感じるのは自然なことです。「自分の関わり方はこれでいいのだろうか」と悩むことは、子どもと真剣に向き合っている証でもあります。学校や地域の相談機関、専門家に相談することは、決して弱さではありません。

「困った子」ではなく「困っている状況」を見る
発達障害を理解するうえで大切なのは、「この子が困った存在なのではなく、この状況がこの子に合っていないのではないか」と考える視点です。

たとえば、朝の支度に時間がかかり、何度声をかけても動けない子どもがいます。一見すると怠けているように見えるかもしれませんが、実際には「何から始めればいいのか分からない」「頭の中が混乱している」状態であることも多いのです。準備の手順を紙に書いて貼る、終わったら印をつけるといった工夫によって、驚くほどスムーズに動けるようになります。

「配慮」は努力を妨げるものではない
発達障害のある子どもへの配慮について、「甘やかしになるのではないか」と心配する保護者は少なくありません。しかし、配慮と甘やかしはまったく異なります。配慮とは、子どもが力を発揮しやすい条件を整えることです。不安や緊張が強い状態では、人は新しいことを学んだり、自分をコントロールしたりする余裕を持ってません。安心できる環境があって初めて、子どもは「やってみよう」「次はこうしよう」と前向きに挑戦することができます。

「違い」を前提にした子育てへ
発達障害は、特別な一部の子どもだけの問題ではなく、人が本来持っている多様性の一側面です。「普通」に合わせるよりも、「その子らしさ」を理解し、その子に合った道を一緒に探していくことが、結果として自立と社会参加につながっていきます。理解しようとする姿勢は、子どもにとって何よりの支えになります。小さな配慮と温かなまなざしの積み重ねが、子どもと家族の安心を支え、未来へとつながっていくのです。

発達障害には、「能力の問題」ではなく「特性の問題」
発達障害には、自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如・多動症(ADHD)、学習障害(LD)などがあります。ASDの子どもは、人との距離感をつかむことや、暗黙のルールを理解することが難しい場合があります。また、音や光、におい、触覚などに強く反応し、周囲が気にならない刺激によって強い疲れを感じることもあります。

たとえば、宿題の量が多すぎて手が止まってしまう子どもに対して、「全部やりなさい」と言い続けても、状況は改善しません。課題を小分けにし、「今日はここまで」と区切ることで、取り組めるようになることがあります。これは努力を減らしているのではなく、努力が可能になる形に整えているのです。

「信頼関係が支援の土台になる」
発達障害のある子どもたちは、注意されたり叱られたりする経験を重ねやすく、「どうせ自分ではできない」「また怒られる」という気持ちを抱きがちです。そのため、支援の第一歩は、安心して関われる信頼関係を築くことにあります。結果だけを見るのではなく、「途中で投げ出さなかったね」「前より落ち着いて待てたね」といった過程を言葉にして伝えることが、子どもの自己肯定感を育てます。信頼関係が築かれることで、子どもは大人の言葉を受け取りやすくなり、支援は初めて現実的な力を持ち始めます。

「健康はあなたの財産です すこやかな明日のために」
年一回は健康チェックを！

人間ドック
脳ドック ものわすれドック

総合健診センター ヘルスポート
〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8
TEL 054-636-6460
FAX 054-636-6465
☎ 0120-39-6460

予防医学協会総合健診センター ヘルスポートだより

眼底検査ってなあに？

総合健診センター・ヘルスポート 山本 里美

健診での眼底検査は、全身の健康状態と目の病気を早期発見するためにおこなわれます。

【眼底検査でわかること】

緑内障や糖尿病網膜症、黄斑変性や眼底出血などの目の病気のほか、生活習慣病の早期発見・進行度の確認に役立ちます。眼底は、体の外側から血管を直接目で見るのでできる唯一の場所です。そのため、高血圧や動脈硬化、糖尿病などの生活習慣病の兆候がないかを確認できるのです。

【眼底検査で見ている主な場所とチェックポイント】

★視神経乳頭

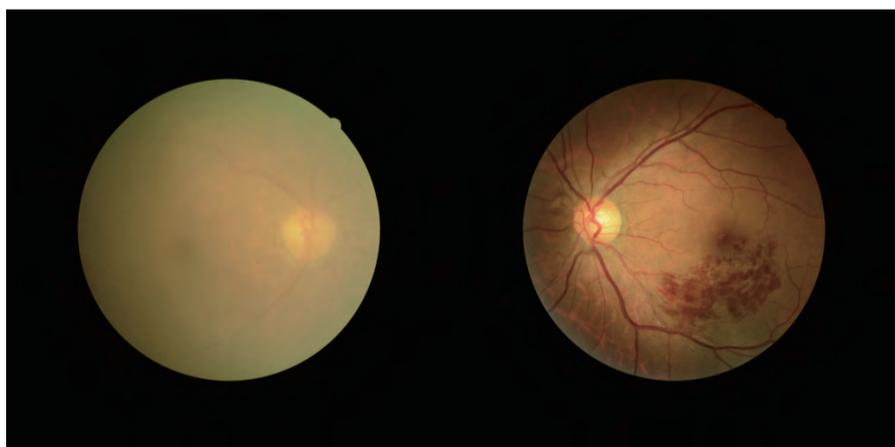
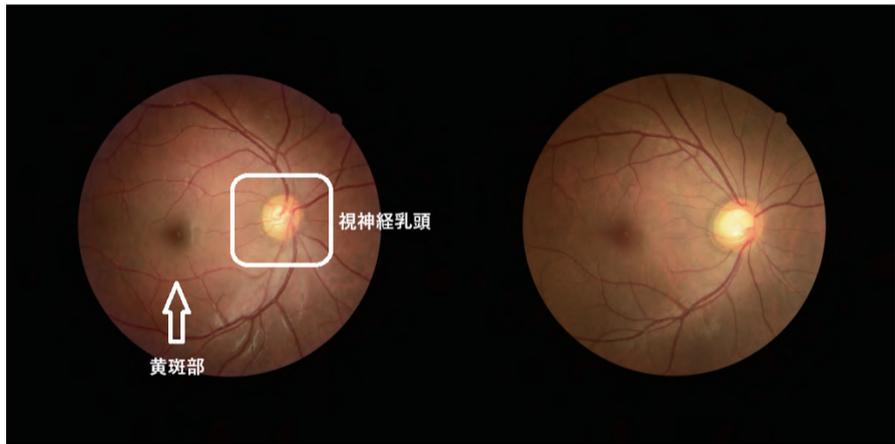
目の奥（眼底）にある網膜で受けた光の情報を脳に伝える視神経の束が集まって眼球に入る部分です。ここが腫れたり（乳頭浮腫）、凹みが大きくなったり（視神経乳頭陥凹拡大）していないかを見ます。失明の原因第1位である緑内障の疑いがないか確認しています。

★網膜

カメラのフィルムに相当し、光を映像に変換する部分です。中心部に当たる黄斑部は視力に重要で、黄斑変性などの病気がないか確認します。糖尿病網膜症や網膜剥離などの病気の有無もチェックします。

★血管

血管の状態を直接観察することにより、動脈硬化の進行度や、高血圧・糖尿病による血管の異常をチェックします。脳腫瘍、くも膜下出血などの兆候が見つかることもあります。



【眼底検査がなぜ重要なのか】

目の病気の初期には自覚症状がほとんどなく、気付いた時には進行していることが非常に多いです。そのため、視力低下や視野の欠損といった症状が出る前に異常を発見し、適切な治療を開始するタイミングを逃さないことがとても重要になります。

眼底検査は、血管を直接観察することで全身の血管の状態が予測でき、自覚症状が出る前の異常を捉え、手遅れになる前に治療を始められる点が最大のメリットです。

「目は体の窓」とも呼ばれます。眼底検査は目の健康をチェックするだけでなく、全身の健康状態を映し出す「健康の鏡」ともいえる重要な検査なのです。

失明や視力低下は、生活の質を著しく低下させ、精神面や社会生活全体に影響を及ぼします。

健康で毎日楽しく充実した生活を送るために、眼底検査を受けてみてはいかがでしょうか。

＜保健指導講話＞ 禁煙で健康に！



田中 美奈子

新年度が始まりました。新たなことに取り組む節目の時期にもぴったりです。今年度はさまざまな病気の原因となるたばこをやめる「禁煙」に取り組んでみてはいかがでしょうか。禁煙のための活動は多くあります。例えば、WHO（世界保健機関）は5月31日を世界禁煙デーとして定めています。また、厚生労働省は世界禁煙デーに始まる1週間（5月31日～6月6日）を禁煙週間、禁煙推進学術ネットワークでも「スワンスワン（吸わん吸わん）で禁煙を」をスローガンに毎月22日を禁煙の日としています。改めてたばこによる害、禁煙のメリットを振り返ってみましょう。

長年喫煙していても禁煙に遅すぎることはありません。禁煙は病気の有無に関係なく健康改善が期待できます。そのため、病気の予防だけでなく、すでに病気のある方も取り組むべき課題です。また、喫煙者本人だけでなく、副流煙により周囲の人へも健康被害をもたらします。普段喫煙しない人はたばこの煙に対する感受性が高く、少しの副流煙でも大きな健康被害を受けるという報告もあります。また、電子タバコにも有害物質は含まれており、煙が出なくても受動喫煙の害があります。自分だけでなく周りの人を守るためにも禁煙が大切です。

＜たばこが関係する主な病気＞

がん		その他の病気	
鼻腔・副鼻腔がん	口腔・咽頭がん	脳卒中	ニコチン依存症
喉頭がん	食道がん	歯周病・歯の喪失	慢性閉塞性肺疾患
肺がん	肝臓がん	呼吸機能低下	結核
胃がん	膵臓がん	虚血性心疾患	腹部大動脈瘤
膀胱がん	子宮頸がん	末梢性の動脈硬化	2型糖尿病
乳がん	大腸がん	認知症	
前立腺がん			

＜禁煙による健康改善＞

1分後 たばこのダメージから回復しようとする機能がはたらき始める。	20分後 血圧・脈拍が正常になる。手足の温度が上がる。	8時間後 血液中の一酸化炭素濃度が下がり、酸素濃度が上がる。
48～72時間後 気管支の収縮が改善し呼吸が楽になる。肺活量も復活し始める。	48時間後 味覚・嗅覚の改善。歩行が楽になる。	24時間後 心臓発作の確率が減る。
2～3週間後 心臓・血管など循環機能が改善	1～9か月後 せき・喘息が改善。スタミナが戻る。感染を起こしにくくなる。	5～9年後 肺がんのリスク減少
10年後 病気にかかるリスクが非喫煙者のレベルに近づく！		

禁煙は一人ではなく、周囲の環境や支援も必要になります。禁煙に挑戦する方にとって最も強力なサポーターはご家族です。禁煙により、意思の強さと関係なく、一時的にイライラしたり元気がなくなったりします。そんな状況の中でご家族ができる支援はたくさんあります。孤独にせず、一緒に頑張る姿勢で支える事が大切です。

＜家族ができるサポート＞

- 禁煙継続の秘訣は自信をもつこと！たくさん褒める。
- 吸いたくならない環境づくり。たばこや灰皿などは見えないように。
- つまらない禁煙を楽しく。口寂しさを紛らわす、ガムや昆布などの活用。できるだけ口に残る、歯ごたえがある、カロリーの低いものを選びましょう。
- 一緒に目標を設定、約束を。できたらご褒美でやる気アップ！
- イライラ、落ち込みを一緒に出掛けて気分転換！たばこを考えない環境づくりを。
- たくさん声をかけて一緒に取り組む。
- 禁煙開始から2週間は離脱症状が強い時期。イライラや集中できない状況を大目に見てあげる。

また、禁煙外来も身近なものになり、治療に健康保険が使えるようになりました。外来で医師と補助剤を使いながら取り組むことで、ニコチン切れの離脱症状を緩和できます。比較的楽に、確実に、費用もあまりかけずに禁煙できるため、禁煙成功率は7～8割といわれています。まずはかかりつけや近隣クリニックへ相談し、禁煙を始めましょう。

禁煙治療に保険が使える医療機関：一般社団法人 日本禁煙学会
www.jstc.or.jp/modules/diagnosis/index.php?content_id=1
 出典・引用：厚生労働省 ホームページ
 公益社団法人 日本医師会 禁煙は愛（2024年度版）



本校は、静岡駅から西に2キロほど離れた場所にあります。江戸時代に徳川家康が整備した駿河国府中の城下町の玄関口でもあり、すぐそばには清流安倍川が流れています。つきたてのお餅にきな粉をまぶして白砂糖をかけた和菓子「安倍川餅」が有名です。田町小には、安倍川堤防に沿った場所に「田町の森」と呼ばれた林があり、豊富な樹木が育っています。季節によって異なる表情が楽しめる、田町っ子じまんの森です。また、東校舎玄関前に日本庭園の装飾である「水琴窟（すいきんくつ）」があります。子供達が安倍川の石で飾り付け、安倍川の水で不思議な音を

本校は、浜松駅から東に4kmほど離れたところに位置し、北側には、源頼朝の弟、範頼にゆかりの深い龍泉寺とその愛馬を祭る「駒塚」があり、古い歴史を有しています。昭和22年に設置された本校は、隣接していた飯田中との合併を経て、令和7年度に統合60周年を迎えました。統合50周年の際には、浜松市内でいち早く制服をブレザー化するなど、歴史や風土を大切にしながらも、社会の変化に応じた生徒主体の教育環境作りを心掛けてきました。全校生徒549名の比較的大規模な学校です。保護者や地域住民も、

奏でています。本校では、「未来（あす）をきりひらく子」を目指す子ども像として掲げ、教育活動を充実させながら、地域の皆様と共に「9年間を見据えた教育活動」を行ってまいります。「安倍川プライド」を軸とし、職員、保護者、地域一丸となったコミュニティ



養護教諭 渡部 元美

ニテイスクールを中心とした時代を生かすために必要な力の育成に取組んでいます。明るく素直な子供たちが多くいます。しかし、自分の気持ちを伝えられないで、言葉でうまく伝えることができない、付き添いでついでに担任や友達に代弁してもらって

学校保健目標を「自ら生活習慣を整え、自己の健康管理ができる児童生徒」と統一し、子どもたちの未来を見据えながら、児童生徒自ら健康管理ができるようになるため、「GSW（グッドスリープウェイク）を軸とした保健教育を中学校区で実施

から取組めるように工夫しました。GSWの取組を盛り上げるため、保健委員会の子どもたちも給食の時間に放送や児童保健委員会だよりを通じ、全校の子どもたちや保護者へと取組の様子を発信しています。子どもたちは、GS

子供が多いです。私は、自分のことは、自分で伝えられるように、質問を重ねながら言葉をつなぎ最後には、子供自身の言葉で伝えられるようにしています。時間をかかりますが、経験することが大切だと思っています。中学校区で子供達の成長を見守れるよう、

子ども自身にセルフコントロールする力を付けるため、1週間の自己目標を、睡眠時間、電子メディア使用時間、今日の体調を記入し1週間後に自己評価ができる個人カードを使用しています。また、保護者欄を設け、学校と家庭で協力しな

静岡市立田町小学校



養護教諭 大園 文香

学校諸活動に大変協力的です。全校生徒を対象に行われるキャリア講座では、同窓会を通じて様々なキャリアを持つ講師が集まり、「働くとは何か。」を学びます。学校教育目標である「夢や未来に向かって自らの可能性に挑戦し続ける生徒の育

大人が増え、相談窓口が広がりました。生徒主体で物事を決める機会が増え、学級全体の団結力の高まりを感じます。また、教職員にとっては、それぞれの持ち味を生かし、様々な視点で生徒の変化に気づくとともに、生徒対応への抱え込みが減っ

当しませんが、各学級の副担任という思いを持って、専門職の知識と技能を生かし、一人ひとりの生徒と向き合います。また、教職員は、チームの一員の役割を果たすことを大切にしています。健康は、「自己実現」のための重要な資源で

浜松市立東部中学校

成」の具現につながっています。そして、教育目標を達成する手段として、令和5年度から、浜松市内で初めて「全員チーム担任制」を取り入れました。学年所属職員が全員でローテーションを組み、各学級を担当します。生徒にとっては、関わる

たと感じます。本校の保健室は、ヒヤリハットするだけでなく、心因性や生活習慣の乱れが原因と考えられる体調不良者の来室が多いです。欠席率も7%後半で、学校以外で学ぶ生徒も少なくありません。養護教諭は、担任ローテーションは担

あると考え、学校保健目標を「生涯にわたって健康を保持増進できる自己管理能力をもった生徒の育成」とし、学校保健活動を展開しています。健康診断の後半で、学校以外で学ぶ生徒も少なくありません。養護教諭は、担任ローテーションは担



げんきな事業所 ジヤトコ株式会社

静岡県富士市吉原宝町1-1

当社は、自動車に欠かせない主要部品である自動車用変速機、電動パワートレインおよび部品の開発・製造・販売を行っています。1970年1月の創業以来、合併など会社変遷を経ながら、長年にわたり一貫して培ってきた技術力を強みに、国内外で事業を展開してきました。現在の社員数はグループ全体で約11700名(連結)、本社のある静岡県には約6000名の社員がものづくりの現場を支えています。



健康サポート室メンバー

受動喫煙を防ぐだけでなく、喫煙者も非喫煙者も誰もが安心して働ける職場環境の整備に努めています。日々の工夫を凝らしています。掲載写真には健康サポート室のメンバーが映っています。ご覧の通り、明るく元気な仲間が揃っています。世界を舞台に活躍する社員の下力を持ち、心こもったサポートを継続していきます。

診の必要性を語り掛けます。受診につながるない生徒には、年2回の相談期間を設け、家庭状況に応じた個別指導を行います。また、生徒目線で安全点検を行い、事故予防に力を入れています。子供達には、大人が助けられる小中学生のうちに、自分で健康を保つ方法や、事故から身を守る方法を学び、この先の人生を、後悔少なく、生きていくことを願います。

社員の心身の健康は会社の大切な「財産」であり、安全で品質の高い製品を安定してお客様へ届けるためには、社員一人ひとりの健康増進と、健康で生き生きと働きやすい環境づくりが何より重要であり、と社長による健康経営宣言に

また、2017年度より構内全面禁煙を実施している点も、当社の健康への強い決意を表す取り組みの一つです。導入時は反発する声もありましたが、段階を追って丁寧な説明を行い、禁煙を希望する社員への支援や相談体制も整えることで、導入に成功しました。



会社外観

経営宣言においても明確に文化されています。このような姿勢が評価され、2019年以降「健康経営優良法人（ホワイト500）」に毎年連続で認定されています。さらに、ダイバーシ



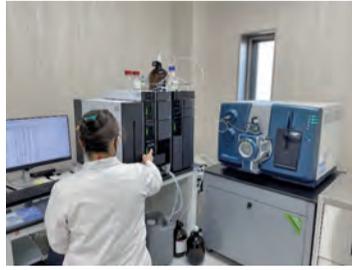
社内ジムを活用した運動イベント

**赤ちゃんが無料で受けられる検査が増えました！
～静岡も「実証事業」に参加～**

静岡事務所 池ヶ谷 やす代

◆**新生児マススクリーニング**

皆さんは新生児マススクリーニングって知っていますか？ほとんどの方が知らないと思います。当会の静岡事務所では新生児マススクリーニングの検査を行っていますが、職員でも詳しく知っている人はほんの一部です。新生児マススクリーニングは、生後4～5日目の赤ちゃんのかかとかから血液を採取して先天性代謝異常症等の疾患を見つけて治療介入することで障害の発生を防ぐ、という事を目的として行われている自治体事業です。当会は静岡県・静岡市・浜松市からの委託を受けてこの検査を行っています。検査費用は自治体が負担するため保護者の負担はありません。県内で生まれたほぼ全ての赤ちゃんがこの検査を受けています。



では、その検査はどのようなものなのか、少しだけ紹介させていただきます。出産医療機関では、赤ちゃんから採取した血液を専用のろ紙に染み込ませ乾燥させたものを郵送で当会へ送ります。そのろ紙を使用して代謝異常等の疾患の可能性がどうかを検査していきます。スクリーニングの対象疾患はアミノ酸代謝異常症5疾患、有機酸代謝異常症7疾患、脂肪酸代謝異常症6疾患、糖質代謝異常症1疾患、内分泌疾患2疾患の合計21疾患です。大多数の赤ちゃんは正常と判定されますが、初回の検査で正常と判定出来なかった時は再採血の依頼をします。再検査でも正常と判定出来なかったり、初回の検査で疾患の可能性が高いと判断された場合には総合病院等で詳しい検査（精密検査）を受けてもらうことになります。

◆**拡大新生児スクリーニング**

自治体からの委託のほかに、県立こども病院を実施主体とした有料の拡大新生児スクリーニングも2023年10月から行なっています。対象疾患は重症複合免疫不全症、B細胞欠損を伴う免疫不全症、脊髄性筋萎縮症、ボンベ病、ファブリー病、ムコ多糖症Ⅰ型・Ⅱ型の7疾患です。県立こども病院や浜松医科大学、聖隷浜松病院の小児科医師の有志が「静岡県でもこのスクリーニングを導入したい！」という思いから静岡希少疾患ネットワークを立ち上げ、当会へお声がけいただき情報提供などで協力し実施に至りました。受検率は約65%で県内の53の分娩取扱施設で検査を受けることができます。2025年5月からは重症複合免疫不全症と脊髄性筋萎縮症はこども家庭庁が行なっている実証事業に切り替わり無料となりました。今では県内出生



の赤ちゃんの95%が実証事業の検査を受けています。実証事業と拡大新生児スクリーニングも再採血の依頼や精密検査の依頼をするのは同じですが、新生児マススクリーニングと違うのは精密検査と判定されたときにすぐに静岡希少疾患ネットワークの先生方に連絡をし、どの病院で精密検査を実施するのか先生方の協議により決まり、保護者への連絡も精密検査病院の先生が行うことです。疾患が確定した後に治療開始までの時間短縮を考慮してこのような体制が構築されました。

新生児マススクリーニングや拡大新生児スクリーニングの対象疾患には治療法がありますが、発症してからの治療だと治療効果が限定的な場合があります。適切な時期に治療を開始することで障害の発生を軽減することが可能となるため、ぜひとも実証事業や拡大スクリーニングを受けていただきたいです。公費での対象疾患の拡充のためこれからも先生方と協力してより良いスクリーニングが行えるよう努力したいと思います。

広報紙「けんこう静岡」発行回数の変更について

これまで年4回（4月、7月、10月、1月）発行していた「けんこう静岡」の発行回数を令和8年7月号以降、年2回（7月、1月）に変更します。

令和8年度けんこう静岡発行予定日

発行号	4月号	7月号	1月号
発行日	4月1日	7月1日	1月1日

※以降は7月号、1月号の年2回の発行となります。

これからも皆様の健康づくりに役立つ情報を発信してまいります。引き続きご愛読いただきますようお願い申し上げます。

**しずおか健康長寿財団
だより**

56

多彩な事業で、皆さまの健康・生きがいをづくりをお手伝い！

しずおか健康長寿財団では、中高年者をはじめ県民の皆様の健康・生きがいをづくりをお手伝いするため、様々な事業を行っています。

●**「第37回静岡県すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会」参加者募集！**

スポーツ・文化活動を通して県内高齢者の健康づくりや生きがいをづくり、選手間の交流促進を目的として開催します。

参加資格	昭和43年4月1日以前に生まれた方
開催日	令和8年9月から令和9年3月の間（競技によって異なります）
種目 (45種目程度)	卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道、グラウンド・ゴルフ、なぎなた、太極拳、ウォークラリー、ソフトバレーボール、サッカー、ダンススポーツ、ボウリング、ターゲット・バードゴルフ、バウンドテニス、オリエンテーリング、パークゴルフ、インディアカ、水泳、ラグビー、カローリング、スポーツウエルネス吹矢、軟式野球、サイクリング、バウンスボール、ディスクン、スポレック、フーバ、ポッチャ、モルック、スポーツチャンバラ、レクリエーションダンス、ラダーゲッター、囲碁、将棋、健康マージャン、かるた（百人一首）、俳句、川柳、eスポーツなど ※種目は今後変更となる可能性があります。
会場	県内各会場（競技によって異なります）
申込方法	各競技団体にお申し込みください（令和8年7月頃から申込受付開始予定）。

●**「第30回静岡県すこやか長寿祭美術展」作品募集！**

高齢者の創作した美術作品を広く募集し、作品を展示することにより高齢者の文化活動を促進するとともに、ふれあいと生きがいを図ります。

参加資格	昭和43年4月1日以前に生まれたアマチュアの方
部門	6部門（日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真）
出品作品	出品者により創作された未発表作品とします。
出品料	1作品2,500円（1人1部門につき1点、複数部門出品可）
出品申込締切	令和8年11月30日（月）（令和8年11月4日（水）より、当財団ホームページから申込受付開始予定）。

優秀作品を表彰します。申込みいただいた全作品を令和9年2月2日（火）～2月14日（日）の間、県立美術館 県民ギャラリーに展示する予定です。

●**「一芸ボランティア」登録＆「一芸ボランティア」への依頼募集！**

得意なことや好きなことを地域活動につなげることを目的とした「一芸ボランティア」の登録を受け付けるとともに、地域活動等で協力を希望する依頼者を募集しています。「一芸ボランティア」に関する情報は、当財団ホームページから閲覧できます。



登録ができる方	(1) これまでに培った知識や特技、趣味などを活かしたボランティア活動（一芸ボランティア）の情報公開を希望する方（個人・団体）。 (2) 個人の場合は18歳以上（高校生を除く）であること。団体の場合は代表者・連絡責任者を含む過半数が18歳以上（高校生を除く）であること。
依頼ができる方	静岡県内の団体（居場所、サロン、サークル等）で、代表者および連絡責任者が18歳以上（高校生を除く）であること。 ※個人の方は活動依頼を行うことはできません。

その他、登録や依頼方法の詳細、注意事項などは当財団HPをご確認ください。

【問い合わせ先】 公益財団法人しずおか健康長寿財団
TEL 054-253-4221
【ホームページ】 <https://www.sukoyaka.or.jp>



人々の健康を支える
「ドクターの検査室」

登録衛生検査所 メディック
www.medic-grp.co.jp



株式会社メディック

静岡ラボ / 浜松市浜名区都田町11181
TEL 053-489-8830

富士ラボ / 富士宮市西山字栗木沢2471-14
TEL 0544-65-3000